

貴船

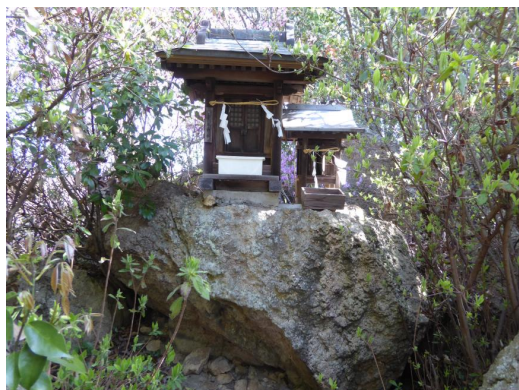
～古く縄文時代から人跡定着の地に鎮まる祭祀遺跡～

目次

1. おすすめポイント
2. 説明
3. 現地写真
4. 「鳥の目」で
5. アクセス



初版：2025.10.29



1. おすすめポイント

★古代祭祀遺跡の前に社殿が建つ「古社」の典型

高台にあるこの地がはるか昔から麓住民の「祈り」、
「祭り」の場であったことが容易に想像できます

★神社（磐座）周辺は桜の名所！

2. 説明

「八木敏乗, 岡山の祭祀遺跡 (岡山文庫 145). 日本文教出版, 1990, p 120-121」より引用させて頂きます。

貴船

邑久郡邑久町山田庄

赤穂線邑久駅から東北へ約四〇〇坪の所に高い丘(約六〇坪)がある。この丘に通じるひなびた山道を上り詰めると、丘頂に簡素なお宮があり、この地の氏神様、貴船神社が鎮まる。

神社の背裏に少し段差をつけて高くなった茂みが、神さびた古代の色濃く漂う雰囲気醸し、大小数個の自然石の組み石から成る神座(磐座)が重く座す。

ここには現在のお宮が建ち鎮まる以前のお宮があったことを、うなずかせる幽玄な神威が辺りを払っている。

遠く古い時代、神への祭祀が奉斎された場、すなわち、古代祭祀遺跡を奥宮、あるいは元宮としている神社の、ほとんどの場合、神社の背裏、またはその周辺やその神社が所在する山の頂に神座がある場合を例とし、これは県の内外を問わず、この例を普遍とする。

この丘から眺望する西南方の地勢は、吉井川が送り出して造った、平坦肥沃なデルタ域が拡がり、今は一面耕地になっているが、まだ海が進んでいた頃は、海原でもあったであろう。

この付近は、縄文、弥生期の遺跡、貝塚の跡も数多く見え、有名な門田貝塚も邑久駅の側に在り、早々とこの地に人跡定着の跡を残している。

中央からの赴任でもあつたらうか、尾張の連の支脈といわれる尾張の宿禰がこの地に據つたとされ、そのせいか、地名、尾張が駅のすぐ近くに「字」として残り、なお岡山市内、池田動物園の東に式内社、尾針神社が見え、尾張一族伊福部連が祖神を祭つたとされ、同一神(天火明命)を奉じた同族と伝えられている。

県内には、貴船の神を奉じ、社名「貴船」を唱える社はこの社以外にも、数社、次のように見える。

久米郡久米町桑下 貴布禰神社

倉敷市中帯江 貴船神社

小田郡失掛町江良 貴船神社

3. 現地写真



3-1

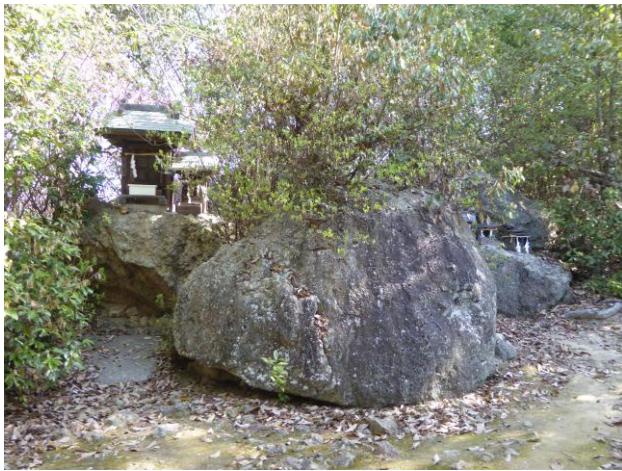
桜が見事！

社殿背後の木立の中に磐座が鎮まる



3-2

社殿の背後 磐座エリアへの入口



3-3

磐座の主体と思われる 巨石群



写真3-3の左側部近影

3-4



写真3-3の右側部近影

3-5



3-6

いたるところに
「何か」
を感じさせる巨石が

3-7



3-8



3-9

3-8の岩 別の角度から

貴船神社社記

たかおかみのかみ

御祭神 高麗神 (伊邪那岐命の御子神)

由緒

創立年不詳である。御本社は山城国愛宕郡（現在の京都市左京区）にある元官幣社 貴船神社である。この神社は、山手半田の早稲田の休所（神功皇后がお休みになられた場所）付近に、稲都神社という神社があり宝龜二年（七七年）各地域にこの稲都神社を氏神として分けることになりました。稲都神社本殿の神様を尾張、山手、真徳に分霊して鎮座し、貴船神社を山田庄、賀茂神社を北池（後に山手に合祀）に鎮座しました。小物屋にあった地福山円通寺の住職が別当として、貴船神社に奉仕する。

寛文六年に別当が還俗して神職となり奉仕をする。

以来この山田庄の氏神様として鎮座されています。

3-10



3-11

背後に磐座への入口が見える

4. 鳥の目で



弥生時代にはこの辺りまで海岸線が迫っていた

門田貝塚

邑久駅

山田庄

4-1 神社のある高台の端上空から南西を望む

2章八木氏の解説、6頁の神社社記参照



吉井川

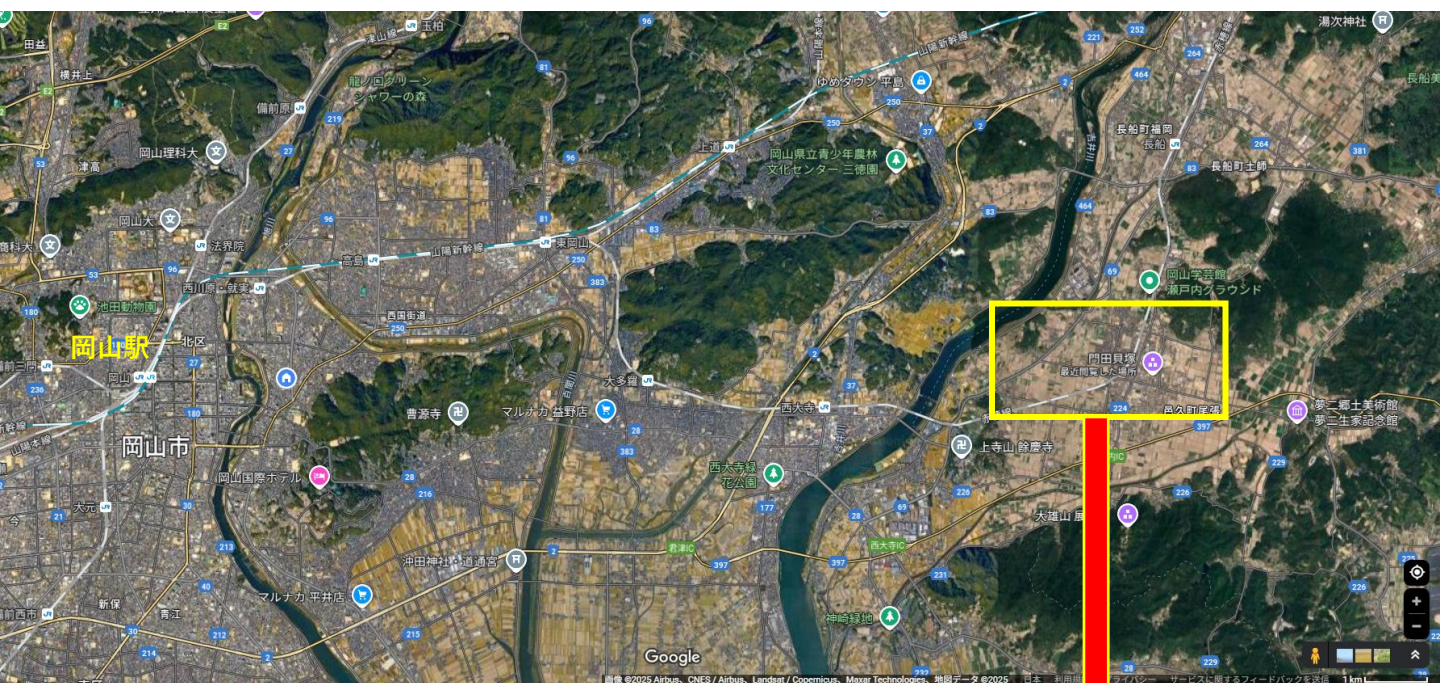
山田庄

小物屋

4-2 神社のある高台の端上空から西を望む

6頁の神社社記参照

5. アクセス



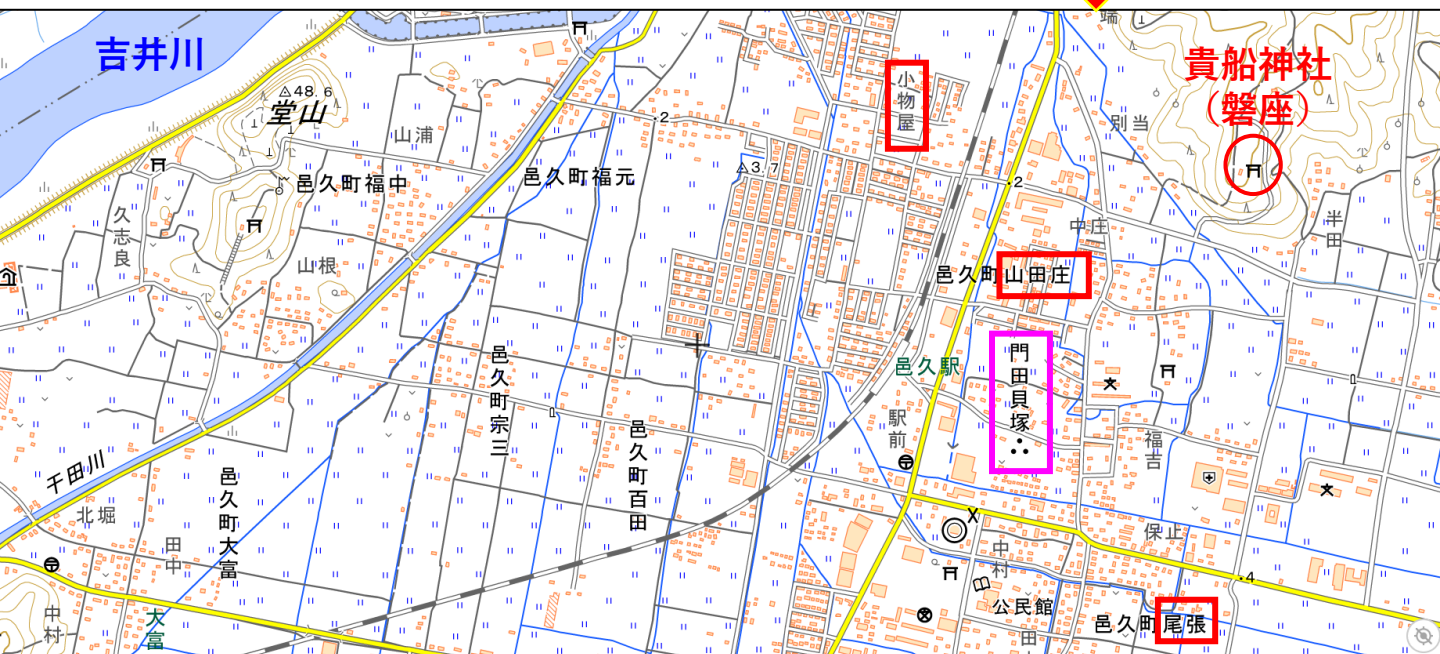
5-1

旭川

吉井川

Google Mapに追記

5-2



地理院地図に赤・紫にて追記

□で囲った地名は2章八木氏の解説、6頁の神社社記参照

参考文献

- 1) 八木敏乗, 岡山の祭祀遺跡 (岡山文庫 145) .
日本文教出版, 1990, p 173